

2015年(平成27年)7月 3日

お知らせ

資料提供先：浜田記者クラブ  
益田記者クラブ

**水生生物による水質の簡易調査を実施します**  
**(子供たちといっしょに川にすむ生き物で水質調査)**

国土交通省浜田河川国道事務所は、**平成27年7月6日(月)高津川において水生生物による簡易調査(小中学校生による)を実施**します(小雨決行)。これは川底の生物を採取して頂き、その種類や数を調べることで川の水質を簡単に知ってもらうのが目的で実施するものです。

問い合わせ先：国土交通省 浜田河川国道事務所

	副所長(河川)	野元 <sup>の</sup> 俊秀 <sup>としひで</sup>
(担当)	高津川出張所長	青木 <sup>あおき</sup> 幸成 <sup>ゆきなり</sup>
(広報担当)	調査設計課長	森山 <sup>もりやま</sup> 泰人 <sup>やすひと</sup>

TEL 0855-22-2480(代表)

URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

# 水生生物調査の概要

## 1. 実施目的

河川の中には、さまざまな生物が、それぞれに適した環境のもとで生息しています。特に、川底に生息する生物は、水質の影響を受けやすく、長時間にわたって一定の場所に生息しているので、川の水質状況を的確に反映しています。

この「水生生物による水質の簡易調査」は、皆さんに水遊び感覚で川底の生物を採取して頂き、その種類や数を調べることで川の水質を簡単に知ることができます。また、調査をとおして川を身近に感じてもらい、河川愛護・水質浄化などへ関心を持って頂ければと考えております。

この調査は、昭和59年より全国の1級水系で行っており、毎年この時期に、小・中学生に参加して頂き実施しています。調査を重ねる毎に、河川に関心を持つ人が増えてきたものとうれしく思っております。今後も更に多くの方々の参加を得て、この調査を継続して実施し、川に親しんで頂きたいと考えております。

## 2. 実施箇所日時

益田市横田 平成27年7月6日(月) 11:00～12:00  
(西益田小学校31名、横田中学校32名) 2校による調査

( )は、各学校の生徒さんの参加予定者数です。

**小雨決行(大雨、上流域の大雨による増水は中止)**

## 3. 実施位置図 別紙図のとおり

## 4. 昨年の調査の様子

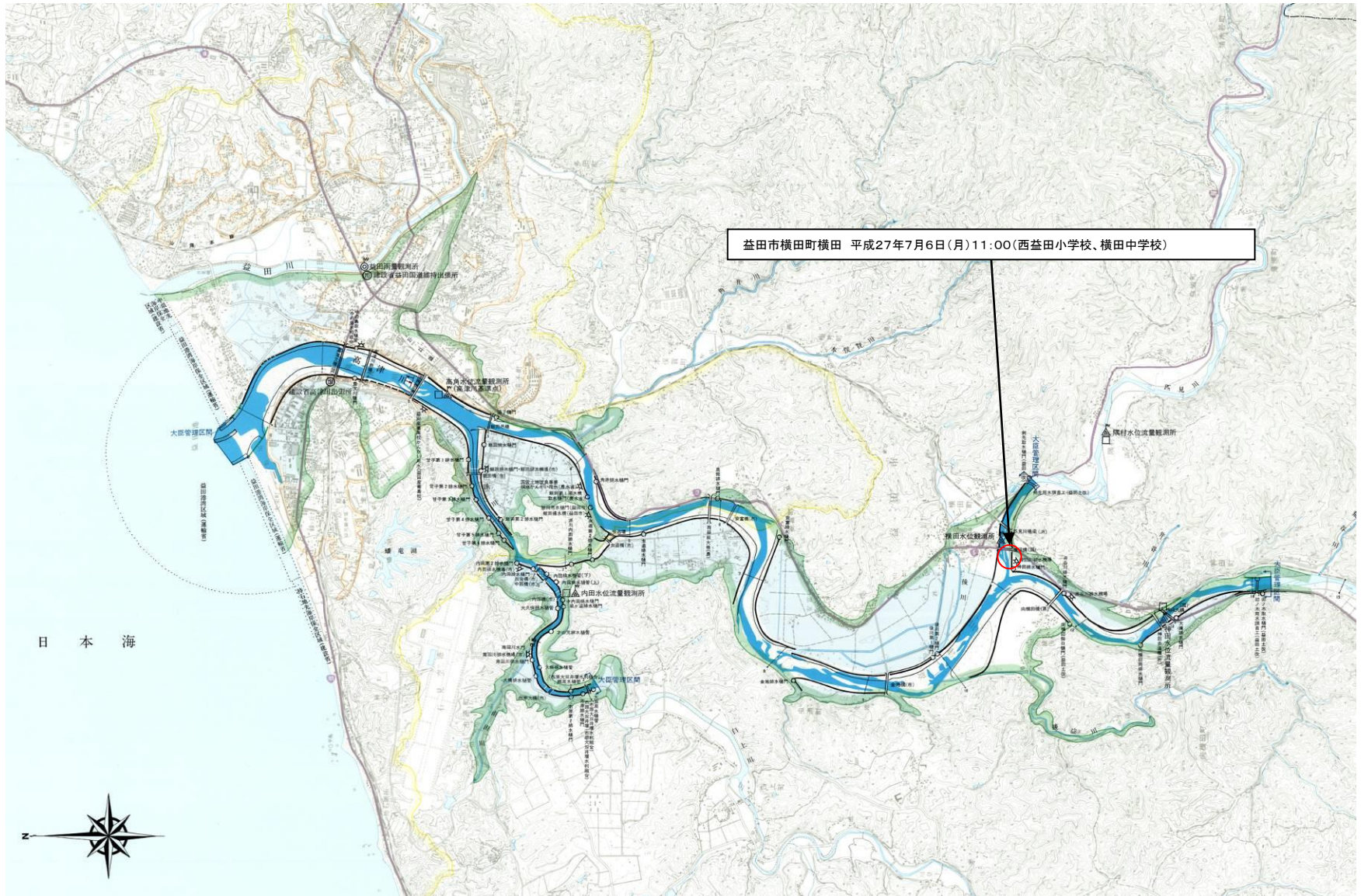


高津川の水生生物の採取



水生生物調査の説明

# 水生生物調査箇所(高津川)



※小雨決行(大雨、上流域の大雨による増水は中止)

# 川の生きものを調べよう

## 水生生物による水質判定

### I きれいな水

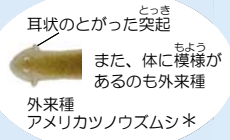


×5

実物大

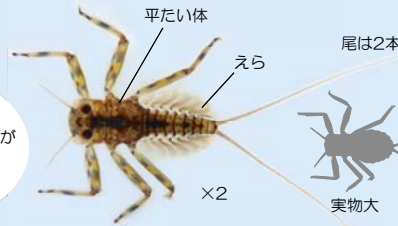
#### ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする  
中・下流部には外来種がいることがある



×2

外来種  
アメリカツノウズムシ



#### ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



実物大

#### カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする  
石の下やすき間にいる



#### アミカ類

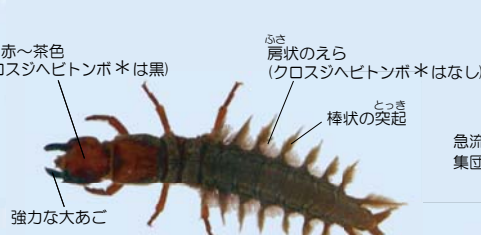
ふくめん きゅうばん  
腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



実物大

#### サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、  
同じ種類である



#### ヘビトンボ

実物大

流れの速い石の下にひそんでいて、  
えものおそ



×3

実物大



×3

実物大

#### ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



実物大

#### ヤマトビケラ類

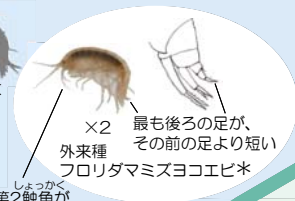
流れの少しゆるやかなところの石面に多い



×2  
最も後ろの足が、  
その前の足より長い

#### ヨコエビ類

上流の石の下や水中に  
たまった落葉の間にいる



×2  
最も後ろの足が、  
その前の足より短い  
外来種  
フロリダマミズヨコエビ\*



×1.5

#### タニガワカゲロウ類

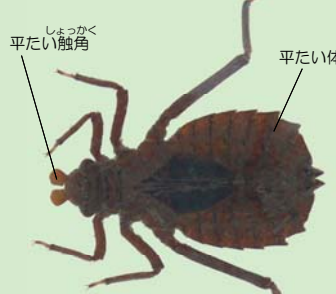
体はヒラタカゲロウ類に似ている  
流れの速いところにいる

### I, II両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

### II ややきれいな水



実物大



実物大

#### コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



×2

実物大

#### ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



実物大

#### ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める  
体色は茶～黒色



×1.5

#### ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ  
の石面にいる



#### カワナナ類

流れの少しゆるやかなところにいる  
外来種のコモチカツツボ\*は数mmと小型

×0.5

一般の口が丸

×2  
外来種  
コモチカツツボ\*

一般の口がひし形



×3

実物大



×10

#### コガタマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



×2

実物大

#### ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる  
カワナをえさとする



ゲンジボタル

ヘイケボタル\*

頭に広い平らな面がある



×5

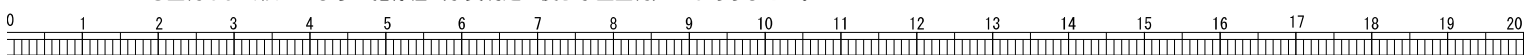


×2.5

#### オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

\*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



### Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



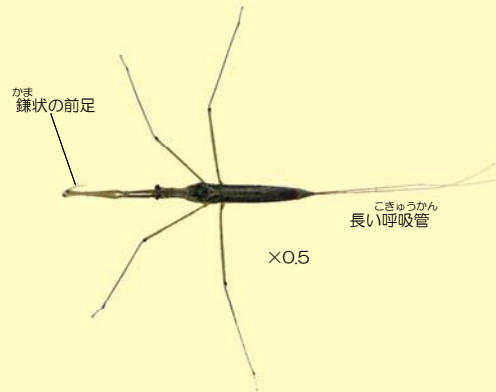
シマイシビル

背中に縦縞模様があるの伸びたり縮んだりする尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

### Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある。瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

### 汽水域(海水が混じているところ)

#### Ⅱ ややきれいな水



イシマキガイ

石や護岸にはりついている淡水域にいることもある

ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる淡水域にはマジミ\*や外来種のタイワンシジミ\*がいる

#### Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいるさわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

\*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。